

平成 10 年 版

環 境 白 書

はじめに



21世紀という新しい時代まで、あと1年余りを残すのみとなりました。

これまでの20世紀は、人類が開発と成長を追い続けてきた時代であり、そのためのさまざまな活動は、私たちに豊かな生活をもたらした一方、地球というかけがえない財産を大きく傷つけてきました。

今日、資源やエネルギーの消費によって支えられている私たちの生活や活動は、一方で環境に大きな負荷を与えており、その結果、大気汚染や水質汚濁等の環境汚染に加え、廃棄物・ゴミ等の身近な問題から、地球温暖化やオゾン層破壊といった地球規模の問題など、広範囲で複雑化したさまざまな環境問題が引き起こされています。

こうした今日の環境問題を解決するためには、何よりも、私たち一人ひとりの環境保全に向けた取組みが重要であり、私たちは、これまでの生活様式や大量生産、大量消費、大量廃棄といった社会システムを見直し、環境への負荷の少ないものへと変えていく必要があります。

県では、平成9年3月に「福井県環境基本計画」を策定し、現在、これに基づき、環境保全施策を総合的・計画的に推進し、豊かで美しい環境福井の創造を目指しているところですが、私たち自らが、現在および将来の環境について真剣に考え、積極的に行動することによって、「環境にやさしい社会」の実現に取り組んでいかなければなりません。

今回の環境白書は、本県における環境の現状、環境保全施策の取組みと今後の方向を中心に取りまとめたものです。

この福井の恵まれた環境を将来の世代に引き継いでいくため、県民の皆様が、今日の環境問題について考え、日常の生活や活動のあり方を見直し、環境負荷の低減に取り組んでいただく上で、本書が少しでもお役に立てば幸いです。

平成11年3月

福井県知事

栗田幸雄